
一般社団法人 日本福祉のまちづくり学会

平成 30 年度 社員総会 議案書

日時 2018 年 6 月 23 日 (土)
会場 日本大学駿河台キャンパス 1 号館 1 4 4 教室
13:00~14:30

議事次第

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 議長等選出（議長 1 名、議事録署名人 2 名、記録者 1 名）
4. 議 事
 - 議案 - 1 平成 29 年度 事業報告
 - 議案 - 2 平成 29 年度 決算報告
 - 議案 - 3 監査報告
 - 議案 - 4 平成 30 年度 事業計画案
 - 議案 - 5 平成 30 年度 予算案
5. 報告
 - 1) 第 21 回（平成 30 年）全国大会（関西大会）の概要
 - 2) 第 22 回（平成 31 年）全国大会（関東大会）の概要
6. その他
7. 閉会

4. 議 事

議案-1 平成29年度 事業報告

1-1： 常設委員会

1-1-1 総務委員会 委員長 稲垣 具志

- (1) 学会主催・共催・協賛・後援等について、各々の定義と適否基準に関する内規を検討した。
- (2) 学会メールマガジン配信の基準について整理し、配信依頼に対する可否判断を随時行った。
- (3) 委員会活動における交通費、謝金等の経費運用の考え方について議論を行い、方針案を取りまとめた。
- (4) 予算及び事業計画の立案と社員総会の運営。

1-1-2 論文委員会 委員長 北川 博巳

(1) 査読状況

- ・新規投稿数：7件 前年度からの繰越：8件 ・査読者選定中：2件 ・査読依頼中：0件 ・査読中：3件
- ・採用決定：7件（19-2号掲載分：3件、19-2号掲載分：2件、20-3号掲載文：2件） ・不採用：3件

(2) 活動報告

- ・委員加入 柳原崇男（近畿大学）石塚裕子（大阪大学）

1-1-3 学会賞選考委員会 委員長 大森 宣暁

(1) 第8回学会賞・市民活動賞の選考

- ・2016年12月27日 募集開始。各支部長等にも推薦依頼。
- ・2017年2月9日 応募締め切り。応募件数2件。
- ・2017年3月13日から7月21日 選考委員会によるメール審議およびヒアリング。
適切なものを選考し理事会に1件を推薦。

① 活動名：大和鉄脚走行会

活動団体名：大和鉄脚走行会

代表者：加藤弘明（日下病院整形外科医長）

- ・2017年8月9日 全国大会（東海）にて表彰式開催

(2) 第8回学会賞・学術賞の選考

- ・2017年3月13日から7月21日 選考委員会によるメール審議。
適切なものを選考し理事会に1件を推薦。

①代表者：長屋榮一

長屋榮一・鈴木博志

「中国西安市における高齢者福祉施設の入所意識、改善要望の地域別分析」

福祉のまちづくり研究 第18巻3号 2016年7月15日発行

(3) 第20回全国大会、大会優秀賞及び大会奨励賞の選考

- ・2017年8月第20回全国大会開催時に、各セッションの座長に推薦を依頼した。推薦のあった計20本の研究発表について、概要集に掲載された論文を6人の選考委員が審査し、大会優秀賞3件及び大会奨励賞4件を選考し、理事会に推薦した。

- ・大会優秀賞（3件）

① （一般論文）E-3（PR0050） 代表者：岩田 三千子（摂南大学）

「輝度画像を用いた晴眼者低視力者の視認性評価 その2. 様々な輝度コントラストの円形視標を用いた見やすさ評価」

- ② (一般論文) K-3 (PR0065) 吉田 樹 (福島大学)
「タクシーを活用したモビリティ確保策の導入適性と諸問題」
- ③ (一般論文) O-4 (PR0014) 代表者：沼尻 恵子 (国土技術研究センター)
「共同住宅における高齢者等の火災時の避難支援に関する研究－避難支援装置に関する心理評価実験結果－」
- (一般論文) O-5 (PR0022) 代表者：伊藤 伸一 (国土技術研究センター)
「共同住宅における高齢者等の火災時の避難支援に関する研究－避難支援装置に関する動作実験結果－」 ※O-4 と O-5 で1件の受賞とする。

・大会奨励賞 (4件)

- ① (一般論文) D-3 (PR0003) 池田 千登勢 (東洋大学)
「障害者就労継続支援B型事業所の事例研究－新規事業所の課題－」
- ② (コメンテーター付き論文) C1-1 (PR0030) 代表者：土橋 喜人 (宇都宮大学)
「公共交通機関の優先席の実効性に関する考察－札幌市営地下鉄の専用席と関東圏地下鉄の優先席の利用実態比較調査より－」
- ③ (ポスター論文) P3-3 (PR0091) 代表者：西館 有沙 (富山大学)
「街中ランナーと交通弱者の接触を回避するための対策－接触リスクが高まる要因を明らかにするためのフィールド調査の結果をもとに－」
- ④ (ポスター論文) P4-2 (PR0084) 代表者：石川 永子 (横浜市立大学)
「災害時の避難生活における小中高校生の活動に関する研究－熊本地震の避難所での活動を中心に－」

(4) 第9回学会賞・市民活動賞の募集

・2018年1月29日 募集開始 ・2018年3月30日 応募締め切り。

1-1-4 会誌委員会 委員長 澤田 大輔

(1) 学会誌の発行

- ・『福祉のまちづくり研究』Vol. 19 No. 2 7月15日発行
特集 特別研究委員会の活動から
・身体と空間特別研究委員会/文化財・世界遺産のアクセシビリティ特別研究委員会
- ・『福祉のまちづくり研究』Vol. 19 No. 3 11月15日発行
特集1 第20回全国大会(東海大会)報告
特集2 特別研究委員会の活動から
・地域福祉交通特別研究委員会
- ・『福祉のまちづくり研究』Vol. 20 No. 1 3月15日発行
特集 特別研究委員会の活動から
・法制度特別研究委員会/子育て・子育てまちづくり特別研究委員会/住民参画・社会環境特別研究委員会

(2) 会誌委員会開催 ・2017年5月20日 日大理工学部(駿河台)にて開催

1-1-5 事業委員会 委員長 秋山 哲男

- ・2017年5月23日 第1回「高齢者交通セミナー」(中央大学後楽園キャンパス)
テーマ「事故と安全」 参加者30名
- ・2017年6月13日 第2回「高齢者交通セミナー」(中央大学後楽園キャンパス)
テーマ「高齢者の新たなモビリティ確保」 参加者28名
- ・2017年7月11日 第3回「高齢者交通セミナー」(中央大学後楽園キャンパス)
テーマ「交通におけるストレスとその軽減」 参加者25名
- ・2017年8月4日(金) 自動運転に関する勉強会(中央大学後楽園キャンパス) 共催

テーマ「日本を中心とする自動運転の現状と将来展望」

- ・2017年10月6日 セミナー「自動運転の現状と将来」中央大学後楽園キャンパス)

テーマ「日本を中心とする自動運転の現状と将来展望」

- ・2017年11月13日(月)「第1回情報まちづくりセミナー」(東京電機大千住キャンパス) 参加者125名
- ・2018年3月20日(木)「第2回情報まちづくりセミナー」(東洋大赤羽台キャンパス)

1-1-6 国際委員会 委員長 北川 博巳

- ・2017年11月9日(木):第3回委員会および公開研究会「スウェーデンにおける高齢社会対応の現状-まちづくりと住環境整備-」(中央大学) 参加人数19名 住まいと福祉コミュニティ特別研究委員会共催

1-1-7 災害研究・支援委員会 委員長 狩野 徹

- ・国際防災フォーラム(2017.11.25~28:仙台市)へ協力
- ・日本介護福祉学会(2017.9.30~10.01:「災害と介護のこれから-被災地における介護が果たす役割-」岩手県)へ協力

1-1-8 東京2020オリンピック・パラリンピック推進委員会 委員長 高橋 儀平

- (1) 2017年10月13日(金)東洋大学白山キャンパス、関東甲信越支部との共催で「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」改正の公開研究会
- (2) 2017年12月25日(月)勉強会
「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会と政府の取組について」
講師:内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会
推進本部事務局 企画官 五百旗頭千奈美氏
「東京2020オリンピック・パラリンピック競技会場の整備状況について」
講師:東京都オリンピック・パラリンピック準備局大会施設部
施設整備第一課 大谷剛弘氏

1-2: 学術研究委員会

1-2-1 学術研究委員会 委員長 水村 容子

- (1) コメンテーター付き論文発表の運用(主として前委員長八藤後、水村で対応)
 - ・活動方針および新投稿論文発表方法に関する検討:現および前会長同席のもと、10月11日、12月12日、2月16日に委員会を開催した。
 - ・現在実施しているコメンテーター付き論文は今年度にて廃止、新方式の検討を行い、2019年度よりあらたな新投稿論文発表方法の運用を開始する。(別紙参照)
 - ・次年度の神戸大会事務局との協働により研究討論会を企画・運営。

1-2-1 (1) 住民参画・社会環境特別研究委員会 委員長 長野 博一

- ・2017年6月16日(金):住民参画・社会環境特別研究委員会 打ち合わせ (エコモ財団会議室)
- ・2017年8月10日(木):第20回全国大会 公開討論会
『障害理解 あらためての問題提起~当事者参画の社会環境整備とは』
- ・2017年12月6日(水):住民参画・社会環境特別研究委員会 第6回公開研究会
内容:テーマ『福祉のまちづくりにおける住民参画と合意形成の課題 その4』
講演:明治大学専門職大学院ガバナンス研究科 教授 松浦正浩 氏

「合意形成論と熟議による当事者間の納得解の導き方～交渉理論を用いて」

討議：グループワーク（ステークホルダー分析）

19時～（日本大学理工学部駿河台キャンパス1号館）

参加者：22名（うち：一般・11名、学生・5名、委員会・6名）

- ・2017年12月20日（水）：住民参画・社会環境特別研究委員会 第7回公開研究会

内容：テーマ『福祉のまちづくりにおける住民参画と合意形成の課題 その5』

1) 取り組み報告

北区（東京都）、市原市（千葉県）、熊谷市（埼玉県）、茅ヶ崎市（神奈川県）の

4自治体から取り組み報告

2) クロストーク及びディスカッション

『行政担当者トークセッション バリアフリー基本構想で困る場面は？』

登壇者：北区、市原市、熊谷市、茅ヶ崎市の担当者

コーディネーター：稲垣具志（日本大学） コメンテーター：長野博一（住民参画委員長）

19時～（日本大学理工学部駿河台キャンパス5号館）

参加者：34名（うち：一般・23名、学生・4名、委員会・7名）

1-2-1 (2) 子育て・子育てまちづくり特別研究委員会 委員長 植田 瑞昌

- ・2017年5月20日（土）：委員会顔合せ（日本大学駿河台校舎） 参加人数5人
- ・2017年10月23日（月）：委員会打合せ（日本大学駿河台校舎） 参加人数7人
- ・2017年11月17日 つくばみらい市共催：子育てバリアフリー教室（屋内編） 参加者 13人
講師 長谷川氏、ファシリテーター 牟田・八藤後・植田・林
- ・2017年11月21日 つくばみらい市共催：子育てバリアフリー教室（屋外編） 参加者 14人
講師 八藤後氏、ファシリテーター 植田・八藤後・山崎・牟田
- ・2017年12月2日勉強会「育児工学から見た子育て・子育てまちづくり」
講師：東京未来大学こども心理学部 准教授育児工学者・博士(医学) 小谷博子先生
参加者 14人 参加費 500円

1-2-1 (3) 身体と空間特別研究委員会 委員長 原 利明

- ・2017年7月12日（火）：出版編集会議（東京大学本郷キャンパス工学部1号館3階会議室）
- ・2017年8月9日（水）：第20回全国大会公開討論会「身体と空間の出会いから今後のまちづくりを考えるープラスのデザインからマイナスのデザインへー」（日本福祉大学東海キャンパス）
- ・2017年12月9日（土）：「きくこと」「みること」「さわること」基礎講座 in 浜松～サウンドUDシティを目指して～（クリエイト浜松）
- ・2018年2月27日（火）：出版編集会議（東京大学本郷キャンパス工学部1号館3階会議室）
- ・昨年度の連続セミナーとこれまでの活動をまとめた本の出版・原稿執筆

1-2-1 (4) サイン環境特別研究委員会 委員長 田中 直人

- ・2017年5月27日（土）：第1回委員会（大阪）
- ・2017年6月24日（土）：第2回委員会（大阪）
- ・2017年7月22日（土）：第3回委員会（大阪）
- ・2017年7月22日（土）：第6回研究会「にのいのサイン環境を考える」
於：大阪大学中之島センター 参加人数：43名
- ・2017年8月10日（木）：第20回福祉のまちづくり学会大会 研究討論会
「観光地におけるサイン環境を考える」（第7回） 於：日本福祉大学・東海キャンパス

- ・2017年11月10日（金）：第4回委員会（大阪）
- ・2018年 1月 6日（土）：第5回委員会（メール審議）
- ・2018年 1月27日（土）：第6回委員会（大阪）
- ・2018年 2月23日（金）：第8回研究会「触れるサインを考える」

於：大阪市立大学文化交流センター 参加人数：30名

1-2-1 (5) 心のバリアフリー特別研究委員会 委員長 中野 泰志

- ・2017年5月8日（水）：委員会顔合わせ（慶應義塾大学日吉校舎） 参加人数8名
- ・2017年6月2日（金）：研修用動画（車いす編）撮影に向けて打合せ 参加人数8名
- ・2017年7月19日（水）：第1回委員会（国土技術研究センター） 参加人数11名
- ・2017年8月10日（木）：研究討論会（日本福祉大学東海キャンパス） 参加人数10名＋聴講者約100名
（福祉のまちづくり研究 2017年11月15日号で詳報掲載）
：第2回委員会（日本福祉大学東海キャンパス） 参加人数10名
- ・2017年8月28日：企業向けの「社会モデル研修」試行実施（民間企業A社）。
参加人数：受講者27名、委員等関係者21名、計48名
：第3回委員会（民間企業A社会議室） 参加人数11名
- ・2017年10月8日：バリアフリーフェスタかながわにて「心のバリアフリー研修」を一般市民等に向けて実施（於慶應義塾大学日吉キャンパス）。参加人数：受講者27名、委員等関係者13名、計40名
- ・2017年11月12日：DPI 障害当事者リーダー養成研修にて、「心のバリアフリー研修」を紹介（戸山サンライズ）。参加人数：受講者はDPI 研修受講者18名、委員等関係者：7名
- ・2017年12月27日（水）：研修用動画（視覚障害編）制作に向けて打合せ（国土技術研究センター）
参加人数9名
- ・2018年2月1日（木）：「社会モデル研修」の普及について打合せ（慶應義塾大学日吉校舎） 参加人数5名
- ・2018年3月29日（木）：第4回委員会（国土技術研究センター）参加人数9名
新たな「社会モデル研修」コンテンツとして、視覚障害編、精神障害編の動画シナリオ検討

1-2-1 (6) 地域福祉交通特別研究委員会 委員長 吉田 樹

- ・2018年3月4日（日）：持続可能な“暮らしの足”を考えるフォーラム in 東北 2018 の開催（宮城大学サテライトキャンパス第一会議室（仙台市青葉区））参加予定人数60名

1-2-1 (7) 法制度特別研究委員会 委員長 男鹿 芳則

- ・2017年8月9日（水）：日本福祉のまちづくり学会第20回全国大会
研究討論会「福祉のまちづく条例の指導の実態と今後を考える」（日本福祉大学）
- ・2017年10月10日（火）：現場見学会「小田急線駅舎トイレ」
（下北沢駅、世田谷代田駅） 参加人数 11名

1-2-1 (8) 住まいと福祉コミュニティ特別研究委員会 委員長 水村 容子

- ・2017年6月30日（金）：第1回委員会および公開研究会「中国で終の棲家はどのように造りだされるのかー北京・康語軒倶楽部老年公寓の設計プロジェクトの経験からー」（中央大学）参加人数26名
- ・2017年10月5日（木）：第2回委員会および公開研究会「Active Urban Design for Older Adults: Concept, Method, and Research Agenda 高齢者がより活動的に暮らせる都市のデザイン：概念、手法、リサーチアジェンダ」（中央大学） 参加人数21人
- ・2017年11月9日（木）：第3回委員会および公開研究会「スウェーデンにおける高齢社会対応の現状ーまちづくりと住環境整備ー」（中央大学） 参加人数19名

1-2-1 (9) 国家資格等に関連する合理的配慮特別研究委員会 委員長 上野 敏行

- ・2017年6月17日(水):委員会開催(東京大学) 4名
- ・2017年8月9日(水):委員会開催(日本福祉大学) 4名
- ・2018年2月18日(日):委員会開催(東京大学) 4名

1-2-1 (10) 文化財・世界遺産のアクセシビリティ特別研究委員会 委員長 高橋 儀平

- ・2017年7月3日(月)委員会、会場:エコモ財団、参加者10名
議題:大会研究討論会の進め方、文化財のバリアフリーデザイン事例集2017の編集方針について、国内世界遺産のアクセシビリティ調査結果の概要について
- ・2017年8月9日(木)全国大会研究討論会「文化財・世界遺産の継承とアクセシビリティ確保の可能性」報告5件+研究討論(福祉のまちづくり研究2017, Vol. 19, no. 3 62-45 報告済み)
- ・2018年月現在、委員により「文化財のバリアフリー事例集2018」の事例を収集中

1-3: 支部

1-3-1 北海道支部 支部長 鈴木 克典

- ・2017年5月13日(土):北海道支部総会(北海道開発技術センター)
- ・2017年5月13日(土):ユニバーサルデザイン・バリアフリーセミナー(北海道開発技術センター)
- ・2017年6月17・18日(土・日):[共催]第12回ユニバーサル上映映画祭 in 七飯(七飯町文化センター)
- ・2017年6月17日(土):[共催]シンポジウム「ユニバーサル社会を築こう」(七飯町文化センター)
- ・2017年9月23日(土):[共催]第12回ユニバーサル上映映画祭 in 北斗(北斗市かなで〜る)
- ・2017年11月26日(日):[共催]第12回ユニバーサル上映映画祭 in 函館(函館総合福祉センター)
- ・2018年2月23日(金):[共催]第17回「野生生物と交通」研究発表会(札幌市教育文化会館)

1-3-2 東北支部 支部長 岡 正彦

- ・支部としての活動はなし

1-3-3 関東甲信越支部 支部長 西出 和彦

- ・2017年4月28日(金):支部総会・(東京大学本郷キャンパス) 参加人数 12名
- ・2017年10月13日(金):関東甲信越支部・オリンピック・パラリンピック推進委員会共同主催研究会『高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準』の改正(平成29年3月)について(東洋大学白山キャンパス) 参加人数 44名
- ・2017年11月11日(土):「若手研究者交流会(合同ゼミ)」(東京大学本郷キャンパス)参加人数 35名

1-3-4 東海北陸支部 支部長 磯部 友彦

- ・2017年6月17日(土):東海北陸支部 第5回研究・活動発表会
内容:東海北陸支部会員が行っている福祉のまちづくりに関する研究、活動等の報告
会場:日本福祉大学・海キャンパス 参加者:15名
- ・2017年12月9日(土):「きくこと・みること・さわること」基礎講座(共催)
内容:身体と空間特別研究委員会主催「きくこと・みること・さわること」基礎講座の地方開催、(公財)交通エコロジー・モビリティ財団とともに東海北陸支部が共催
会場:クリエート浜松 参加者:30
- ・2018年1月19日(金):当事者参画によるユニバーサルデザイン シンポジウム開催(共催)

内容：基調講演「名古屋駅の成り立ちと名古屋駅ユニバーサルデザインの課題」とパネルディスカッション「当事者参画によるユニバーサルデザインをめざして」。

会場：名古屋都市センター 参加者：40名

- ・2018年3月11日(土)：東海北陸支部総会

総会：2017年度活動報告・会計報告案並びに2018年度活動計画・予算案

会場：ナディアパーク・デザインセンタービル6F セミナールーム2

- ・2018年3月11日(土)：当事者参加型バリアフリー研修の意義と今後の展開に向けた勉強会

内容：各地で実施されている研修の報告と、東海北陸地域における今後の取組みの方向性を議論等

会場：ナディアパーク・デザインセンタービル6F セミナールーム2

1-3-5 関西支部 支部長 田中 直人

- ・2017年5月19日(金)：第46回関西セミナー「スウェーデンの福祉のまちづくり：介護と補助具の供給システムに焦点をあてて（大阪大学中之島センター）
- ・2017年7月2日(日)：第21回全国大会会場候補地事前調査（現地）
- ・2017年7月14日(金)：第1回 第21回全国大会準備会（大阪）
- ・2017年7月22日(土)：研究会「にのいのサイン環境を考える」共催（大阪大学中之島センター）43名
- ・2017年8月9日(水)：第2回 第21回全国大会準備会（日本福祉大学）
- ・2017年9月20日(水)：第1回 第21回全国大会実行委員会（大阪）
- ・2017年10月13日(金)：第21回全国大会企画部会（大阪）
- ・2017年10月20日(金)：第2回 第21回全国大会実行委員会（大阪）
- ・2017年11月21日(火)：第21回全国大会企画部会（大阪）
- ・2017年11月30日(木)：第3回 第21回全国大会実行委員会（大阪）
- ・2017年12月6日(水)：近畿大学×奈良女子大学×大阪大学3大学合同ゼミ（近大東大阪キャンパス）30名
- ・2017年12月15日(金)：第21回全国大会企画部会（大阪）
- ・2017年12月21日(木)：第4回 第21回全国大会実行委員会（大阪）
- ・2018年1月12日(金)：第21回全国大会企画部会（現地）
- ・2018年1月19日(金)：第5回 第21回全国大会実行委員会（大阪）
- ・2018年2月9日(金)：第21回全国大会エクスカースション候補地下見（神戸）
- ・2018年2月20日(火)：第21回全国大会企画部会（大阪）
- ・2018年2月22日(木)：第6回 第21回全国大会実行委員会（大阪）
- ・2018年2月23日(金)：研究会「触れるサインを考える～誘導ブロック」共催（大阪市大文化交流センター）
- ・2018年3月16日(金)：第7回 第21回全国大会実行委員会（大阪）

1-3-6 中国四国支部 支部長 山岡 俊一

- ・2017年4月28日(金)：支部幹事会（はなの舞 広島新幹線口店）（9名）
- ・2017年6月24日(土)：2017年度支部通常総会（サテライトキャンパスひろしま）（10名）
- ・2017年6月24日(土)：災害と福祉に関する講演会・報告会（サテライトキャンパスひろしま）（22名）
- ・2017年7月22日(土)：2017年度（第1回）ミニセミナー「“障害者差別”と“福祉”を考えるーその歴史と法律・制度ー」（サテライトキャンパスひろしま）（9名）
- ・2017年10月7日(土)：活気のある中山間地を考えようセミナー in 鳥取（南部町健康管理センターすこやか）（12名）
- ・2017年11月25日(土)：支部幹事会（大和ミュージアム 会議・研修室）参加人数（6名）
- ・2017年11月25日(土)：少子高齢化・人口減少の進む地方都市における人々の移動について考えるセミナー in 呉（大和ミュージアム 会議・研修室）参加人数（18名）

- 2018 年 3 月 10 日（土）：2017 年度（第 3 回）日本福祉のまちづくり学会中国四国支部 研究・活動発表会
（サテライトキャンパスひろしま） 参加人数（11 名）

1-3-7 九州沖縄支部 支部長 岩浦厚信

- 2017 年 5 月 27 日（土）：2017 年度九州沖縄支部総会（西九州大学） 参加 5 名
- 2017 年 2 月 17 日（土）：2017 年度九州沖縄支部大会（西九州大学） 参加 20 名

議案-2 平成29年度 決算報告

収 支 計 算 書

平成 29年 4月 1日 から 平成 30年 3月 31日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	実 績	差 異	執行状況
I 収入の部				
1. 会費収入	6,780,000	6,269,000	△ 511,000	92.5%
正会員	6,540,000	6,067,000	△ 473,000	92.8%
学生会員	130,000	120,000	△ 10,000	92.3%
入会金	110,000	82,000	△ 28,000	74.5%
2. 賛助会員会費	800,000	680,000	△ 120,000	85.0%
賛助会員	800,000	680,000	△ 120,000	85.0%
3. 事業収入	4,420,000	4,193,167	△ 226,833	94.9%
研究受託費	0	0	0	-
全国大会収入	3,000,000	3,064,800	64,800	102.2%
論文掲載料・査読料	160,000	261,270	101,270	163.3%
会誌等刊行物販売(会誌購読含む)	120,000	99,595	△ 20,405	83.0%
広告収入	60,000	30,000	△ 30,000	50.0%
事業委員会(受託＋イベント参加費)	540,000	517,500	△ 22,500	95.8%
常設委員会イベント参加費・懇親会費(除く事業委員会)	150,000	72,500	△ 77,500	48.3%
特別研究委員会イベント参加費	380,000	103,500	△ 276,500	27.2%
支部収入	10,000	44,002	34,002	440.0%
4. 寄付金収入	0	0	0	-
5. 前年度繰越金	6,043,969	6,043,969	0	-
6. 雑収入(利息等)	20	31	11	155.0%
収入合計	18,043,989	17,186,167	△ 857,822	95.2%
II 支出の部				
1. 事業費	11,524,500	7,756,093	△ 3,768,407	67.3%
受託研究事業費	0	0	0	-
全国大会事業費	3,500,000	3,251,211	△ 248,789	92.9%
受付システム構築・概要集CDR作成	850,000	856,548	6,548	100.8%
全国大会時討論会	240,000	56,486	△ 183,514	23.5%
総務 ホームページ維持管理	30,000	15,422	△ 14,578	51.4%
学会変更登記手数料	100,000	41,620	△ 58,380	41.6%
総会・理事会運営費(講師謝礼等)	140,000	123,093	△ 16,907	87.9%
新リーフレットの印刷費	50,000	17,300	△ 32,700	34.6%
論文 査読者謝金、通信、抜刷作成等	245,000	160,355	△ 84,645	65.5%
学会賞 事業費	255,000	74,600	△ 180,400	29.3%
会誌 学会誌3号分、XML化:J-STAGE	1,860,000	1,671,808	△ 188,192	89.9%
事業委員会 事業費	540,000	543,026	3,026	100.6%
国際委員会 事業費	130,000	24,660	△ 105,340	19.0%
災害研究・支援委員会 事業費	350,000	0	△ 350,000	0.0%
オリパラ委員会 事業費	140,000	0	△ 140,000	0.0%
翻訳:IPC講演会:講師旅費・会場費等	0	0	0	-
学術研究 特別研究委員会事業費	1,385,200	436,058	△ 949,142	31.5%
特別研究委員会 情報保障・保育等	573,000	76,134	△ 496,866	13.3%
支部 事業費	1,036,300	307,772	△ 728,528	29.7%
JD年会費・入会金	100,000	100,000	0	100.0%
震災復興活動支援費	0	0	0	-
選挙関連費用	0	0	0	-
2. 管理費	5,972,736	5,396,461	△ 576,275	90.4%
事務局本部人件費	2,367,736	2,640,360	272,624	111.5%
事務委託費	1,850,000	1,941,627	91,627	105.0%
備品・消耗品費・コピー代等	25,000	40,813	15,813	163.3%
通信費(切手代、宅配便、送金手数料)	60,000	47,511	△ 12,489	79.2%
役員等交通費:総会、理事会、幹部会等	1,580,000	640,350	△ 939,650	40.5%
税務処理費	70,000	70,000	0	100.0%
事務諸経費(会議費、雑費)	20,000	15,800	△ 4,200	79.0%
3. 積立金および積み立て繰入支出	200,000	200,000	0	100.0%
4. 予備費	346,753	0	△ 346,753	-
当年度支出合計	18,043,989	13,352,554	△ 4,691,435	74.0%
当年度収支差額	0	3,833,613		
次年度繰越金	0	3,833,613		

日本福祉のまづくり学会			第20回記念全国大会in東海 決算書			2018年3月9日		
	項 目	予 算			決 算			備 考
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	
収入	1. 収入							
	①参加費							
	正会員（事前）	150名	7,000	1,050,000	90名	7,000	630,000	
	正会員（当日）	30名	9,000	270,000	81名	9,000	729,000	
	非会員	20名	10,000	200,000	32名	10,000	320,000	
	学生会員	20名	2,000	40,000	5名	2,000	10,000	学生会員は事前申し込みが主体のため
	学生非会員	20名	3,000	60,000	19名	3,000	57,000	
	小 計（1）			1,620,000			1,746,000	
	②展示出展費							
	企業	6社	30,000	180,000	6社	30,000	180,000	
	小 計（2）			180,000			180,000	
	③広告協賛費							
	広告費	6社	50,000	300,000	1社	50,000	50,000	A4判1/1頁(出展あり)
					2社	20,000	40,000	A4判1/4頁
	賛助金	50社	5,000	250,000	28社	5,000	140,000	
	小 計（3）			550,000			230,000	
	④支援金等							
	学会開催助成	一式		200,000	一式		200,000	(財)大幸財団
	学会開催援助金	一式		100,000	一式		147,000	日本福祉大学
	小 計（4）			300,000			347,000	
	⑤懇親会参加費							
	懇親会参加費	90名	4,500	405,000	50名	4,500	225,000	事前申し込み分
		10名	5,500	55,000	52名	5,500	286,000	当日申込み分
		10名	2,000	20,000	3名	2,000	6,000	
	弁当代	200個	800	160,000	56個	800	44,800	9日：24名 10日：32名
	小 計（5）			640,000			561,800	
	収入合計			3,290,000			3,064,800	
支出	2. 支出							
	①会場費							
	会場使用料（芸術劇場）							
	多目的ホール	一式		76,100	一式		36,020	
	ミーティングルーム	一式		57,300	一式		2,240	
	ワークショップ室	一式		48,000	一式		5,350	
	キッズルーム	一式		23,100	一式		3,070	
	映像・音響機器等使用料	一式		50,000	一式		66,840	会場での機器類賃借料
	大屋根広場				一式		2,160	愛夕協UDタクシー車両展示
	看板等制作費	一式		50,000	一式		50,000	
	ジョイントマット				一式		4,784	託児室用マット
	小 計（1）			304,500			170,464	
	②印刷費							
	チラシ印刷費(1500部)	1,500	80	120,000	一式		81,000	
	ポスター印刷費(300部)	300	160	48,000	一式		46,656	
	掲示物印刷費	一式		54,000	一式		10,800	
	デザイン版下原稿作成	一式		64,800	一式		164,160	
	プログラム印刷費(300部)	300	355	106,500	一式		97,200	
	スタッフ資料印刷費			0	40部	180	7,776	
	シンポジウム資料印刷費	300	94	28,200	一式		0	
	手提げ袋代（印刷費込み）	400	590	236,000	一式		194,400	
	小 計（2）			657,500			601,992	
	③シンポジウム報奨費・旅費							
	基調講演謝金	2	10,000	20,000	1名	10,000	10,000	
	同 旅費	1	30,000	30,000	1名	11,160	11,160	
	パネルディスカッション謝金	5	10,000	50,000	3名	10,000	30,000	
	同 旅費	1	30,000	30,000	一式		4,240	
	小 計（3）			130,000			55,400	
	④情報保障等費用							
	手話通訳	4	10,000	40,000	一式		53,460	
	要約筆記	2	100,000	200,000	一式		101,555	
	点訳料	1	35,000	35,000			0	
	託児委託費	1	100,000	100,000	一式		49,500	託児関係
	小 計（4）			375,000			204,515	
	⑤その他							
	アルバイト人件費（8/9-11）	60名	10,000	600,000	71名	9,200	653,200	
	アルバイト人件費（8/8前日準備）				3名	5,000	15,000	
	懇親会司会者謝金				1名	10,000	10,000	
	事務委託費	一式		200,000	一式		324,000	A J U 関係
	シンポジウムテープ起こし				一式		77,760	
	会議費	一式		200,000	一式		31,140	実行委員会・論文委員会会議室利用料
	通信費	一式		50,000	一式		30,851	郵便関係、宅配、FAX等
	旅費						1,800	
	事務用品費	一式		80,000	一式		10,982	コピー代、振込手数料等
	レンタル料						178,344	パネル、PC賃借料
	花代	一式		50,000	一式		10,800	
	運搬費	一式		50,000			0	
	雑費				一式		8,021	傘、傘袋、紙コップ等
	印刷費	一式		20,000	一式		17,271	名札、領収書等
	損害保険料	一式		53,000	一式		36,500	行事保険
	弁当代	200個	800	160,000	153個	800	122,400	スタッフ、事務局、座長等
	小 計（5）			1,463,000			1,528,069	
	⑥懇親会・参加者弁当							
	懇親会費	一式		700,000	一式		543,521	
	弁当代	200個	800	160,000	56個	800	44,800	参加者申込分
	弁当代				55個	790	43,450	8/11分
	小 計（6）			860,000			631,771	
	⑦参加費返金			0	一式		59,000	
	支出合計			3,790,000			3,251,211	

貸 借 対 照 表

平成30年 3月 31日 現在

(単位:円)

科 目		金 額			
			合 計		
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金		3,882,458			
前払金		250,000			
流動資産合計				4,132,458	
2. 固定資産					
積立金		3,500,000			
固定資産合計				3,500,000	
資産合計					7,632,458
II 負債の部					
1. 流動負債					
会費前受金		113,000			
未払金		144,360			
預り金		41,485			
流動負債合計				298,845	
2. 固定負債					
固定負債合計				0	
負債合計					298,845
III 正味財産の部					
正味財産					7,333,613
(うち基本金)					(0)
(うち当期正味財産増減額)					-1,998,523
負債及び正味財産合計					7,632,458

財 産 目 録

平成 30年 3月 31日 現在

(単位:円)

科 目	細 目	金 額	
		一般勘定	合 計
I 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 現金預金			
	(1) 現金		
	関西支部	98	
	(2) 普通預金		
	三菱東京UFJ銀行青葉台支店	105,128	
	北海道支部	105,209	
	東北支部	40,007	
	関東支部	313,019	
	東海北陸支部	231,176	
	関西支部	147,070	
	中国四国支部	53,645	
	九州支部	127,288	
	三菱東京UFJ銀行虎ノ門支店	15	
	(3) 郵便口座		
	(会費口)	2,422,965	
	(震災義援口)	179,698	
	(4) 事務局預かり金	157,140	
	(5) 前払金	250,000	
	流動資産合計		4,132,458
2. 固定資産			
(1) 積立金			
	(1) 普通預金		
	三菱東京UFJ銀行虎ノ門支店	3,500,000	
	固定資産合計		3,500,000
資 産 合 計			7,632,458
II 負債の部			
1. 流動負債			
(1) 会費前受金		113,000	
(2) 未払金		144,360	
(3) 預り金		41,485	
	流動負債合計		298,845
2. 固定負債			
	固定負債合計	0	
負 債 合 計			298,845
正 味 財 産			7,333,613

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 資金の範囲について

資金の範囲については、現金預金、未収金、前払費用、未払金、会費前受金、預り金を含めることにしている。

2. 次年度繰越金の内容は、次の通りである。

科 目	当期末残高
現金預金	3,882,458
未収金	0
前払費用	250,000
未払金	(144,360)
会費前受金	(113,000)
預り金	(41,485)
次期繰越収支差額	3,833,613

3. 消費税の会計処理

消費税の会計処理は、税込み方式によって行っている。

正味財産増減計算書

平成29年 4月 1日から平成30年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
会費収益	6,269,000	6,551,000	△ 282,000
正会員	6,067,000	6,316,000	△ 249,000
学生会員	120,000	129,000	△ 9,000
入会金	82,000	106,000	△ 24,000
法人会費	680,000	680,000	0
賛助会員	680,000	680,000	0
事業収益	4,193,167	5,590,525	△ 1,397,358
研究受託費	0	1,080,000	△ 1,080,000
全国大会収益	3,064,800	3,414,010	△ 349,210
論文掲載料・査読料	261,270	182,500	78,770
刊行物販売等	99,595	122,517	△ 22,922
広告収益	30,000	30,000	0
事業委員会収益	517,500	0	517,500
常設委員会収益	72,500	0	72,500
特別研究委員会収益	103,500	711,428	△ 607,928
支部収益	44,002	50,070	△ 6,068
受取寄付金	0	180,000	△ 180,000
雑収益	31	56	△ 25
経常収益計	11,142,198	13,001,581	△ 1,859,383
(2) 経常費用			
事業費	7,756,093	9,835,292	△ 2,079,199
受託研究事業費	0	222,047	△ 222,047
全国大会事業費	3,251,211	3,814,130	△ 562,919
受付システム構築・概要集CDR作成費	856,548	855,468	1,080
全国大会時討論会	56,486	239,590	△ 183,104
ホームページ維持管理	15,422	15,422	0
学会変更登記手数料	41,620	0	41,620
総会・理事会運営費	123,093	133,412	△ 10,319
新リーフレットの印刷費	17,300	0	17,300
論文査読者謝金、通信、抜刷作成等	160,355	114,737	45,618
学会賞事業費	74,600	114,558	△ 39,958
会誌	1,671,808	1,436,436	235,372
事業委員会事業費	543,026	0	543,026
国際委員会事業費	24,660	0	24,660
オリパラ研究会	0	37,299	△ 37,299
翻訳：IPC講演会：講師旅費・会場費等	0	765,614	△ 765,614
学術特別研究委員会事業費	436,058	427,134	8,924
特別研究委員会情報保障・保育等	76,134	0	76,134
支部事業費	307,772	365,385	△ 57,613
JD年会費・入会金	100,000	100,000	0
震災復興活動支援費	0	866,379	△ 866,379
選挙関連費用	0	327,681	△ 327,681
管理費	5,396,461	4,135,387	1,261,074
事務局本部人件費	2,640,360	1,304,901	1,335,459
事務委託費	1,941,627	1,951,376	△ 9,749
備品・消耗品費・コピー代等	40,813	24,913	15,900
通信費	47,511	59,839	△ 12,328
役員等交通費	640,350	717,015	△ 76,665
税務処理費	70,000	70,000	0
事務諸経費	15,800	7,343	8,457
予備費	0	89,265	△ 89,265
経常費用計	13,152,554	14,059,944	△ 907,390
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,010,356	△ 1,058,363	△ 951,993
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,010,356	△ 1,058,363	△ 951,993
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,010,356	△ 1,058,363	△ 951,993
一般正味財産期首残高	9,343,969	10,402,332	△ 1,058,363
一般正味財産期末残高	7,333,613	9,343,969	△ 2,010,356
II 正味財産期末残高	7,333,613	9,343,969	△ 2,010,356

議案-3 平成 29 年度 会計監査報告
(本資料には署名・捺印入り)

監 査 報 告 書

一般社団法人日本福祉のまちづくり学会
会長 小山 聡子 殿

作成日 平成 年 月 日

監事 古瀬 敏 ⑩

監事 黒寄 隆 ⑩

監査事項

一般社団法人日本福祉のまちづくり学会の監事として一般社団法人及び一般財団法人に関する法律にもとづく、会計監査及び業務監査を実施した。

会計監査の結果

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの事業年度の会計帳簿および財務諸表等につき一般に認められた会計監査の基準にしたがって照合実査、その他必要な監査手続きを実施した結果、次の事を確認した。

- ① 正味財産増減計算書は、会計基準のフォーマットに合わせて作成されている。
- ② 財産目録および貸借対照表に記載の諸資産が正しく保全され正確な会計処理がなされている。
- ③ 会計帳簿・伝票等・会計関係書類一式が、適正に保管され正確な会計処理がなされている。

業務監査報告

理事の業務執行状況を監査するため、理事会に出席するとともに、理事から業務執行の状況を聞き、重要な決済書類を閲覧し、その他必要な監査手続きを実施した結果、次の事を確認した。
理事の業務執行は合法適正に行われ、不正の行為または法令もしくは定款に違反する事実はない。

監事の意見

上記監査結果にもとづき監事は財務諸表等及び財産目録が当学会の財産及び正味財産増減の状況を適正に表示しており、且つ理事の業務執行は適正に行われているものと認める。

議案-4 平成30年度 事業計画案

4-1: 常設委員会

4-1-1 総務委員会 委員長 稲垣 具志

- ・定款・内規等の規定について、内容の精査を行い必要に応じて見直しを行う。
- ・学会としての情報保障のあり方について議論し指針を提案する。
- ・会員の増員のための方策について検討する。
- ・委託事務局の国際文献社との調整。

4-1-2 論文委員会 委員長 北川 博巳

- ・論文集の発行・査読の実施・査読体制の充実

4-1-3 学会賞選考委員会 委員長 大森 宣暁

(1) 第9回学会賞・市民活動賞の選考

- ・応募された活動から適切なものを選考する。
- ・2018年8月9日 全国大会（神戸）で表彰式を開催予定。

(2) 第9回学会賞・学術賞の選考

- ・本年度は選考しない。

(3) 第21回全国大会、大会優秀賞及び大会奨励賞の選考

- ・2018年8月9日、10日 全国大会（神戸）研究発表会の各セッションの座長に推薦を依頼。
- ・選考委員会で、大会優秀賞及び大会奨励賞を選考。

4-1-4 会誌委員会 委員長 澤田 大輔

(1) 学会誌の発行

- ・『福祉のまちづくり研究』Vol.20 No.2 7月15日発行
第21回全国大会 in 関西 大会直前案内
特集 特別研究委員会の活動から ほか
- ・『福祉のまちづくり研究』Vol.20 No.3 11月15日発行
特集1：第21回全国大会 in 関西開催報告
特集2：特別研究委員会の活動から ほか
- ・『福祉のまちづくり研究』Vol.21 No.1 3月15日発行
(企画調整中)
- ・会誌委員会は総会時等に適宜開催予定

○役員の皆さん、会誌購読会員の増加、関係企業への巻末広告掲載の勧誘のご協力も引き続きお願い致します。

4-1-5 事業委員会 委員長 秋山 哲男

(1) セミナー開催

- ・2018年7月10日(火) 連続セミナー第一回 身近な生活と交通 北星学園大学C館1階講堂
共催：日本福祉のまちづくり学会事業委員会・北海道支部、交通エコロジー・モビリティ財団
- ・2018年7月11日(水) バリアフリー法の関連ガイドライン改定に関するセミナー 札幌・北星学園大学C700
主催：日本福祉のまちづくり学会事業委員会・北海道支部、(公益財団法人) 交通エコロジー・モビリティ財団
- ・2018年8月29日「第3回情報まちづくりセミナー」(京都大学国際交流ホール) 中央大学研究開発機構
- ・2018年9月6日 「知的障害のある人との共同研究“インクルーシブリサーチ”の可能性」

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団／日本福祉のまちづくり学会、京都府立大学公共政策学部
福祉社会学科森口弘美科研：知的障害者の「関係性の変容としての自立」のプロセスの解明（研究課題番号 16K04216）

・その他、各種セミナー・勉強会開催

4-1-6 国際委員会 委員長 北川 博巳

- (1) 英文による福祉のまちづくり研究のアーカイブ化
- (2) 学会の国際関係の窓口機能
- (3) 国際セミナーの開催、共催、協賛
- (4) 国際交流の機会づくり、国際会議の情報提供

4-1-7 災害研究・支援委員会 委員長 狩野 徹

- (1) 定例会を開催するとともに、各被災地（東北、北関東、関西、九州）の復旧・復興の現状を把握し、学会としての支援・助言を行う。
- (2) 報告会開催
公開研究会、シンポジウム、など成果を会員向けあるいは被災者向けに行う。

4-1-8 東京 2020 オリンピック・パラリンピック推進委員会 委員長 高橋 儀平

- ・2018 年 9 月勉強会「バリアフリー法改正と東京 2020 大会の準備状況」
- ・2018 年 11 月勉強会「オリンピック・パラリンピック競技施設の準備状況視察」
- その他、随時勉強会を開催予定

4 - 2 : 学術研究委員会

4-2-1 学術研究委員会 委員長 水村 容子

- ・新投稿発表論文の運用方法の確定および会員への周知
- ・特別研究委員会の募集

4-2-1 (1) 住民参画・社会環境特別研究委員会 委員長 長野 博一

- ・2018 年 5 月中旬：住民参画・社会環境特別研究委員会 打ち合わせ
- ・2018 年 7 月中旬：住民参画・社会環境特別研究委員会 勉強会（任意）
- ・2018 年 9 月下旬：住民参画・社会環境特別研究委員会 第 8 回公開研究会
内容：テーマ『福祉のまちづくりにおける住民参画と合意形成の課題 その 6』
- ・2018 年 12 月上旬：住民参画・社会環境特別研究委員会 第 9 回公開研究会
内容：テーマ『福祉のまちづくりにおける住民参画と合意形成の課題 その 7』

4-2-1 (2) 子育て・子育てまちづくり特別研究委員会 委員長 植田 瑞昌

- ・2018 年 4 月：委員会顔合わせ会（日大駿河台） 参加人数 7 人予定
- ・2018 年 6 月：「障害児に配慮したまちづくり～特別支援教育の現状（仮）～」(日大) 参加人数 20 人程度
- ・その他：勉強会予定

4-2-1 (3) 身体と空間特別研究委員会 委員長 原 利明

＜委員会＞

- ・2018 年 5 月 21 日（月）：第 16 回委員会（日大駿河台校舎）

- ・2018年9月19日（水）：第17回委員会（日大駿河台校舎）
- ・2018年12月中旬：第18回委員会（日大駿河台校舎）
- ・2019年3月中旬：第19回委員会（日大駿河台校舎）

<セミナー>

- ・2018年7月14日（土）：「みること」「きくこと」「さわること」基礎講座 in 盛岡（アイーナキャンパス）岩手県立大学、東北支部と共催予定。
- ・2018年10月17日（水）：「みること」「きくこと」「さわること」応用編連続講座-第1回（東大本郷）
- ・2018年11月22日（木）：「みること」「きくこと」「さわること」応用編連続講座-第2回（東大本郷）
- ・2018年12月中旬：「みること」「きくこと」「さわること」応用編連続講座-第3回（日大駿河台校舎）
- ・2019年1月下旬：「みること」「きくこと」「さわること」応用編連続講座-第4回（日大駿河台校舎）

<研究討論会>

- ・2018年8月9日（木）：第21回全国大会公開討論会「身体と空間の出会いから今後のまちづくりを考えるープラスのデザインからマイナスのデザインへ part2ー」（神戸しあわせの村）

<出版>

- ・昨年度の連続セミナーとこれまでの活動をまとめた本の出版・原稿執筆

4-2-1 (4) サイン環境特別研究委員会 委員長 田中 直人

- ・サイン環境研究シリーズなど、研究会の企画・実施
- ・委員会の開催（6回）
- ・委員会活動のまとめ

4-2-1 (5) 心のバリアフリー特別研究委員会 委員長 中野 泰志

- ・2018年5月8日（火）：「社会モデル研修」を改訂した「車いす使用の講師と考える『心のバリアフリー』」を慶應義塾大学日吉キャンパス「BF/UD入門Ⅰ」の授業で実施。参加人数約40名、委員等関係者3名
- ・2018年5月24日（木）：「車いす使用の講師と考える『心のバリアフリー』」を練馬区の市民大学「パワーアップカレッジねりま」で実施。参加人数約35名、委員等関係者3名
- ・2018年8月：福まち学会全国大会で研究討論会を予定
テーマ「精神障害と視覚障害を題材とした『心のバリアフリー』研修：障害の理解から人権の理解への展開」
- ・2018年9月以降「社会モデル（視覚障害編）」研修予定

4-2-1 (6) 地域福祉交通特別研究委員会 委員長 吉田 樹

- ・2018年5月頃：特別研究委員会研究会（都内）
- ・2018年8月：学会全国大会研究討論会（神戸市（しあわせの村））
- ・2018年12月頃：特別研究委員会研究会（都内）
- ・2019年3月頃：フォーラムの開催（東北地方もしくは都内）

4-2-1 (7) 法制度特別研究委員会 委員長 男鹿 芳則

- ・2018年6月：シンポジウム「鉄道駅舎のバリアフリー整備の取り組み」（会場 未定）
- ・2018年10月：講演会「Play for All(UDの遊び場づくり）」（会場 未定）
- ・2018年2月：講演会「自立生活運動と福祉のまちづくり（世田谷区の事例より）」（会場 未定）

4-2-1 (8) 住まいと福祉コミュニティ特別研究委員会 委員長 水村 容子

- ・2018年5月頃：第1回委員会（年間2〜3回を予定）
- ・2018年6月頃：公開研究会の実施

- ・2018年10月頃：公開研究会の実施

4-2-1 (9) 国家資格等に関連する合理的配慮特別研究委員会 委員長 上野 敏行

- ・2018年6月頃：障害のある学生（複数）へのインタビュー（日本福祉大学）
＊現在、日本福祉大学において倫理規定の審査中。
- ・訪問調査実施
- ・報告会開催

4-2-1 (10) 文化財・世界遺産のアクセシビリティ特別研究委員会 委員長 高橋 儀平

- ・2018年4月委員会、平成2018年度事業計画確認、事例集編集
- ・2018年7月「文化財のバリアフリー事例集2018」編集委員会
- ・2018年9月「事例集2018」発行、研究会
- ・2018年11月委員会
- ・2019年2月委員会

4-3： 支部

4-3-1 北海道支部 支部長 鈴木 克典

- ・2018年6月：北海道支部総会（北海道開発技術センター）
- ・2018年7月 身近な生活と交通に関する連続セミナー・第1回（地域交通）
- ・2018年7月 バリアフリー法の関連ガイドライン改定に関するセミナー
- ・2018年10月 身近な生活と交通に関する連続セミナー・第2回（鉄道）
- ・2018年1月 身近な生活と交通に関する連続セミナー・第3回（空港）
- ・その他、ユニバーサルデザイン研究会・勉強会（未定）

4-3-2 東北支部 支部長 岡 正彦

- ・2018年7月：視覚・聴覚・触覚に関する連続セミナー〈身体と空間特別研究委員会〉
（岩手県立大学アイーナキャンパス）
岩手県立大学社会福祉学部、福まち東北支部協賛

4-3-3 関東甲信越支部 支部長 西出 和彦

- ・2018年5月：支部総会（東京大学本郷キャンパス）
- ・2018年9月：研究会①「公共交通機関の移動円滑化整備ガイドライン改定について（仮題）」（会場未定）
- ・2018年11月：若手研究者交流会（合同ゼミ）（東京大学本郷キャンパス）
- ・2018年12月：研究会②「住まいの貧困を考える研究会」（会場未定）

4-3-4 東海北陸支部 支部長 磯部 友彦

- ・2018年6月：東海北陸支部 研究交流会の開催（予定）
- ・2018年9月：東海北陸支部 第1回セミナーの開催（予定、これからのトイレ問題）
- ・2018年11月：東海北陸支部 見学会勉強会の開催（予定、セントレアLCC用ターミナル増設状況）
- ・2019年1月：東海北陸支部 第2回セミナーの開催（予定、バス問題）
- ・2019年3月：東海北陸支部総会（予定）

4-3-5 関西支部 支部長 田中 直人

- ・2018年 8月 : 第21回全国大会in関西（しあわせの村）
- ・2018年 8月 : 第21回全国大会 関西支部研究討論会企画
- ・第47回日本福祉のまちづくり関西セミナー（予定）
- ・他学会等の事業への後援・協賛（18年7月予定）
ひょうごユニバーサル社会づくり推進大会・第25回福祉のまちづくりセミナー
- ・支部役員会の開催（18年4月25日）

4-3-6 中国四国支部 支部長 山岡 俊一

- ・2018年 5月 : 2017年度支部通常総会（広島YMCA国際文化センター）
- ・2018年 5月 : 講演会 「福祉のまちづくりにおける住民参加・参画」（広島YMCA国際文化センター）
- ・2018年 7月 : 2017年度（第2回）ミニセミナー（会場 未定）
- ・2018年 10月 : セミナー（高知市文化プラザ）
- ・2019年 3月 : 2018年度（第4回）日本福祉のまちづくり学会中国四国支部研究・活動発表会（会場未定）

4-3-7 九州沖縄支部 支部長 岩浦 厚信

- ・2018年 6月2日 : 2018年度九州沖縄支部総会
- ・2018年未定 : 2018年度九州沖縄支部大会

議案-5 平成30年度 予算案

2018年度予算書				
平成 30年 4月 1日 から 平成 31年 3月 31日まで				
			(単位:円)	
科 目	2018年度 予 算 額	2017年度 実 績	差 異	
I 収入の部				
1. 会費収入	6,740,000	6,269,000	471,000	
正会員	6,500,000	6,067,000	433,000	
学生会員	150,000	120,000	30,000	
入会金	90,000	82,000	8,000	
2. 賛助会員会費	800,000	680,000	120,000	
賛助会員	800,000	680,000	120,000	
3. 事業収入	3,989,500	4,193,167	△ 203,667	
研究受託費	0	0	0	
全国大会収入	3,000,000	3,064,800	△ 64,800	
論文掲載料・査読料	240,000	261,270	△ 21,270	
会誌等刊行物販売(会誌購読含む)	100,000	99,595	405	
広告収入	60,000	30,000	30,000	
事業委員会(受託+イベント参加費)	300,000	517,500	△ 217,500	
常設委員会イベント参加費・懇親会費(除く事業委員会)		0	0	
特別研究委員会イベント参加費	199,500	103,500	96,000	
総会懇親会参加費	60,000	72,500	△ 12,500	
支部収入	30,000	44,002	△ 14,002	
4. 寄付金収入	0	0	0	
5. 前年度繰越金	3,833,613	6,043,969	△ 2,210,356	
6. 雑収入(利息等)	20	31	△ 11	
収入合計	15,363,133	17,186,167	△ 1,823,034	
II 支出の部				
1. 事業費	8,650,000	7,458,658	1,191,342	
受託研究事業費	0	0	0	
全国大会事業費	3,500,000	3,251,211	248,789	
受付システム構築・概要集CDR作成	850,000	856,548	△ 6,548	
全国大会時討論会	50,000	56,486	△ 6,486	
論文 査読者謝金、通信、抜刷作成等	210,000	160,355	49,645	
学会賞 事業費	150,000	74,600	75,400	
会誌 学会誌3号分、XML化:J-STAGE	1,700,000	1,671,808	28,192	
事業委員会 事業費	340,000	543,026	△ 203,026	
国際委員会 事業費	100,000	24,660	75,340	
災害研究・支援委員会 事業費	100,000	0	100,000	
オリパラ委員会 事業費	90,000	0	90,000	
翻訳:IPC講演会:講師旅費・会場費等	0	0	0	
学術研究 特別研究委員会事業費	750,000	436,058	313,942	
特別研究委員会 情報保障・保育等	250,000	76,134	173,866	
支部 事業費	560,000	307,772	252,228	
震災復興活動支援費	0	0	0	
2. 管理費	5,706,000	5,693,896	12,104	
事務局本部人件費	2,650,000	2,640,360	9,640	
事務委託費	1,650,000	1,941,627	△ 291,627	
ホームページ維持管理	16,000	15,422	578	
学会変更登記手数料	0	41,620	△ 41,620	
新リーフレットの印刷費	0	17,300	△ 17,300	
備品・消耗品費・コピー代等	40,000	40,813	△ 813	
通信費(切手代、宅配便、送金手数料)	30,000	47,511	△ 17,511	
総会・理事会運営費(講師謝礼等)	130,000	123,093	6,907	
役員等交通費:総会、理事会、幹部会等	650,000	640,350	9,650	
選挙関連費用	330,000	0	330,000	
JD年会費	100,000	100,000	0	
CPD登録料	30,000	0	30,000	
税務処理費	70,000	70,000	0	
事務諸経費(会議費、雑費)	10,000	15,800	△ 5,800	
3. 積立金および積み立て繰入支出	1,000,000	200,000	800,000	
4. 予備費	7,133	0	7,133	
当年度支出合計	15,363,133	13,352,554	2,010,579	
当年度収支差額	0	3,833,613		
次年度繰越金	0	3,833,613		

5. 報告

1) 第 21 回（平成 30 年）全国大会（関西大会）の概要

2) 第 22 回（平成 31 年）全国大会の概要

6. その他

- ・ 論文委員長交代のご報告